

全労連社会保障闘争本部ニュース

NO.135

全労連社会保障闘争本部発行

2021年1月28日

埼玉春闘共闘

さいたま日赤前で

「医師・看護師増やせ」と宣伝！

埼玉春闘共闘は1月22日（金）午前8時から、さいたま日赤前で「医師・看護師を増やせ」のプラスターを掲げてのスタンディング、全労連「変える」ピラや「いのち署名」を入れた封筒を職員や病院利用者に配布しました。当該の全日赤さいたま労組の役員、医労連の仲間のほか、埼教組、埼高教、全労連・全国一般、JMITU、県国公、埼玉土建、自治労連、さいたま地区労、埼労連事務局など10組織24人が参加し、封筒180通を配布できました。



当日は日赤に勤務する埼玉医労連・宮本まき子委員長はじめ、埼労連・新島議長などが「医師・看護師を増やそう」「国は医療機関への支援を行え」と訴えました。NHKさいたま支局が取材に訪れ、午後6時半からの首都圏ネットワークで放映されました。

埼労連は厚労省がねらっている424の公立・公的病院統廃合はただちに断念し、コロナ対策のためにも公立・公的病院を拡充せよと呼びかけ、424病院リストに入っている地域での宣伝、および、すべての地域で医療現場への激励宣伝を具体化しようと呼びかけています。

424 共同広島NEWSから↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓

広島市内 75 の老人クラブから♥300筆の署名が届く♥

広島県保険医協会は、会員だけでなく、名簿のある広島市内老人クラブのうち 304 クラブに「お願い文書+署名用紙+返信用封筒」をセットし発送。一筆の署名から多いものは40筆の署名が返送され、トータ

ルで75のクラブから300筆の署名が届いています。担当者は「4通に1通が返送されています。予想外の反響にびっくり」と話し、役員一同、コロナ禍での地域医療の大切さを地域のお年寄り実感していると感じています。

一方、まだまだ地域に署名の意義を伝えきれていないと感じ、1月27日に開催された第7回「424共同広島」幹事会では、残りの「はがき署名」を早めにポスティングするなど、思いつく限りの取り組みを進めていこう！！と意思統一をしました。

全医労中丸登代子&医労連煙崎久美子ペア参上！！

1・25 コロナ患者さん収容の福山医療センター周辺にポスティング！！

「全医労中丸登代子&医労連煙崎久美子ペア」が、福山市に参上！！「いのちはがき署名」と「全労連変えるリーフ」セットを配布しました。中丸登代子さんの感想です。

「福山医療センターは、年末からのコロナ感染クラスターで、組合支部も対応に追われていました。一月中にはがき署名の配布を、と言っても手が回らない。そこで全医労広島地区として外から運動を応援しようと、医療センター周



辺に500枚ポスティングをしました。この日は医労連からも快く応援にきてくれ、2人で1時間半で終了。医療センターは、街の真ん中にあり、住宅やマンション、アパートが密集し、配布したどこからも医療センターが見えました。

依頼文には、クラスターでご心配をおかけしています。もともと感染病棟がないところにコロナ患者さん収容。人員も足りない。ベッドも足りない。どんな感染症、自然災害でも、安心してかかれる地域にするために、署名に取り組んでいることをわかるように書いたつもりです。

対話できた人は多くはありませんでしたが、「ご心配をおかけしています」とお話しすると、「わかりました」と受け取ってくれました。

仕事が終わった支部役員に報告すると、勇気づけられたのか、残っていた100枚を自宅周辺で配布すると持ち帰っていました。

1・26 広島西医療センター近隣のJR周辺にポスティング

広島西医療センターのある大竹市の隣町廿日市市のJR大野浦駅周辺に「全医労中丸&医労連煙崎ペア」が参上。470枚をポスティングしました。庭の手入れの女性に話しかけると、「うちの母も広島西医療センターにかかっています。ベッドがすくなくなりかかれなくなると困りますよ」と話してくれました。

また、畑の手入れの男性は「署名はせんよ」と言いつつ、話を聞いてくれ、「医療センターのことは知ってるよ。こんなコロナなのに、減らさんじゃろう。そが一にせにゃいけをのよの一。頑張りんさい。」と、署名用紙を受け取ってくれました。

二人とも、連日のポスティングお疲れさまでした。